

若者 献血に協力を

県赤十字センター 学生が一日所長

県赤十字血液センター(岡山市北区いづみ町)は9日、若者への協力を呼び掛ける「私たちの献血」キャンペーンの一環として、川



献血協力者に感謝の言葉を掛ける池内さん(中央)と宮原さん

崎医療福祉大2年池内佑衣さん(20)に一日所長を委嘱した。同センターで委嘱状を受け取った池内さんは「私たち若者が血

液事業を支えていかなければならない。安全な血液製剤を安定的に確保するため、理解と協力をお願いしたい」とあいさつ。県学生献

血推進連盟代表の中国学園大2年宮原里菜さん(19)と献血室を訪れ、協力者に感謝の言葉を掛けた後、JR岡山駅で啓発活動を行った。キャンペーンは、風邪の流行などで献血者が減少傾向にある冬場に安定供給を確保しようとする実施。2月末までの期間中、PR役を務

めるアイドルグループ乃木坂46をデザインしたクリアファイルなどが10〜20代の協力者に贈られる。同センターによると、少子化などに伴い、10〜30代の献血者はこの10年間で約35%減少。現在はA、O、A B型の血液が特に不足しているという。

(中原由華)